

分野	授業科目	単位 (時間)	進度	担当
専門基礎分野	微生物学	1 (30)	1 年前期	三森龍之 実務経験あり
科目目的	微生物と生体反応との関連および感染と免疫について学び、安全や感染予防の基礎知識を理解する。			
科目目標	1. 病原微生物の性質と感染の機構について学び、感染と発病の関係を理解する。 2. 習得した感染防御の知識や技術を臨地実習や臨床での看護の展開に活かす。 3. 感染防御の必要性と具体的な方法を理解する。			
単元名	教育内容	時間	教育方法	留意点
1. 微生物と微生物学	1) 微生物の性質 2) 微生物学の歴史	2	講義	視聴覚教材 (スライド) を活用し、臨床的な内容の理解を促進し、疾患、看護の知識の体系化、深化に役立つようにする。  学生自らも臨地実習への準備として、対策を具体的に知っておかなければならない、針刺し事故や院内感染防止等、自分に直接関係することを理解させる。
2. 細菌学 [1]	1) 細菌の性質、感染の機構 2) 細菌の形態学、グラム染色	2	講義	
3. 細菌学 [2]	1) 細菌の生態学、細菌の遺伝 2) 常在細菌叢	2	講義	
4. 病原細菌 [1]	1) ブドウ球菌、連鎖球菌、緑膿菌 病原性大腸菌、ヘリコバクターなど	2	講義	
5. 病原細菌 [2]	1) 芽胞菌、嫌気性菌、マイコプラズマ 結核菌、リケッチア、クラミジアなど	2	講義	
6. ウイルス学	1) ウイルスの性質 2) ウイルス感染の機構	2	講義	
7. 病原ウイルス [1]	1) DNA ウイルス：ポックスウイルス ヘルペスウイルス、アデノウイルスなど	2	講義	
8. 病原ウイルス [2]	1) RNA ウイルス：インフルエンザウイルス ポリオウイルス、コロナウイルス、SFTSなど	2	講義	
9. 真菌学と病原真菌	1) 真菌の性質、菌糸と酵母様真菌 2) 各真菌感染症	2	講義	
10. 寄生虫学	1) 寄生虫の性質 2) 寄生虫と宿主の相互関係	2	講義	
11. 寄生虫病	1) 原虫類 (根足虫類、鞭毛虫類、孢子虫類) 蠕虫類 (線虫類、吸虫類、条虫類)	2	講義	
12. 感染症の定義	1) 微生物感染の機構、感染経路 2) 感染の成立から発症後の経過まで	2	講義	
13. 感染症予防法	1) バイオハザードとバイオセーフティ 2) 滅菌と消毒	2	講義	
14. 感染症の治療 現状と対策	1) 化学療法薬 (抗生物質) の基礎 2) 感染症の現状と問題点：院内感染など	2	講義	
15. まとめと試験		2		
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「微生物学」(医学書院)			
評価方法	筆記試験 100点で評価する。			